

暦の上では春を迎え、少しずつ寒さがゆるやいでいる今日この頃。皆様いかがお過ごしでしょうか。2月は多くの疾患の患者さんが入院され、医局員一同、日々奮闘しています。忙しい毎日ではありますが、ふとした時に見せる子どもたちの回復力や、ご家族からの感謝の言葉に元気をもらっています。

今回の小児科通信でも、小児科病棟の行事、医局員の先生方の学会参加報告などを掲載しています。ぜひ、ご覧になってください。

～1・2月の医局行事報告～

1月 産業医科大学小児科同門会

今年もリーガロイヤルホテル小倉で、産業医科大学小児科同門会が開催されました。ベテランの先生から若手の先生までが一堂に会し、近況報告に花を咲かせる賑やかな時間となりました。

今回のハイライトは、なんとといっても白幡先生による『昆虫標本・大じゃんけん大会』です！白幡先生が丹精込めて作成された貴重な標本の数々は、どれも息をのむほど美しく、会場からは感嘆の声が上がりました。その後の『大じゃんけん大会』では、大人たちが童心に帰って盛り上がり、笑顔の絶えない時間となりました。



2月 腎臓グループのクリニカル・カンファレンス

「検尿を味方につける外来診療」のテーマで、煙草谷ひかる先生、平川 潤先生、斉宮真理先生が発表されました。

日常診療において検尿異常を認める機会は少なくありませんが、その臨床的意義の判断に迷う場面も多くあり、また検尿所見が、重要な疾患の早期発見につながることもあります。本クリニカル・カンファレンスでは、検尿の基礎的事項を学ぶとともに、3歳児検尿および学校検尿について改めて勉強することができました。

～1・2月の小児科病棟の様子

1月 ドゲンジャーズ来る！

ドゲンジャーズの「オーガマン」「キタキュウマン」が病棟や外来を訪問してくれました。プレイルームで子どもたちと遊んだり、病室を訪問してドゲンジャーズの人形を渡したり。子どもたちは大興奮で、最後はハイタッチ！たくさんの笑顔と元気を届けてくれました！



2月 小児科病棟で節分のお楽しみ会が行われました

小児科病棟に鬼が来た！！

でも大丈夫！子どもたちが豆を投げて見事に鬼を退治しました！



2月 小児科病棟にスノーギフトが届きました

北海道に拠点を置く、そらぶちキッズキャンプから毎年恒例となっているスノーギフト（段ボールいっぱいの雪）が届きました。入院中の子どもたちは、北海道のふわふわした本物の雪に触れ、雪だるまを作ったり、プチ雪合戦をしたりと、冬を楽しみました。※そらぶちキッズキャンプとは、小児がんや心臓病などの難病とたたかう子どもたちを支援する団体です。



～2・3月開催予定の学会～

学会によっては学生参加枠もありますので、興味のある学生さんはお声かけ下さい★

2月27日-3月1日 第48回 日本造血・免疫細胞療法学会総会（東京国際フォーラム）

○水城 和義先生

3月14日

第532回小児科学会福岡地方会（九州大学医学部百年講堂）

○宮地 秀途先生 ○小松 静野先生

～2月3月の医局内イベント～

学生さんの中には、小児科通信を読んで学会参加してくれた方もいらっしゃいます！興味のある方は、ご連絡をお待ちしております。

2月 新生児グループのセミナー

3月 八幡地区病院小児科合同カンファレンス

3月 山口大学法医学教室 高瀬泉教授によるセミナー（*Zoom配信はありません）

★Zoom参加出来るセミナーもあります。参加してみたい方は、守田（h-rita@med.uoeh-u.ac.jp）までご連絡ください。

～医局員からのメッセージ～

初めまして、医師3年目、小児科修練医1年目の徳永希望です。4月から、NICU→病棟(A班)→病棟(B班)とローテーション中です。大学でローテーションしてみて、市中病院とは違い、小児科の分野の広さを再認識しています。新しい知識ばかりで、まだまだ小児科医としては未熟ですが、上級医の先生方の丁寧で優しい指導のおかげで少しずつ成長できていると思っています。

また、1か月に1回の北九州総合病院での救急当直では、病棟当直の先生方のサポートの中ではありますが、研修医とは違い自分の判断で入院や経過観察など方針を判断することが求められるようになり、もうすぐ1年経ちますが今でも毎回緊張しながら当直に向かっています。当直の度に、失敗することや判断に迷うことがたくさんありますが、先輩方に教えてもらったり、同期同士で共有したりと毎回の当直で新たな経験や知識を積めることができています。

どの班のローテーションでもそれぞれの分野でのやりがいを感じており、サブスペシャルの分野に関してはまだ決めかねています。来年度より勤務する小倉医療センターで、NICUから一般小児まで様々な分野を経験し、今後の進路を検討したいと考えています。

研修医時代とは異なる環境で、始めは戸惑ってばかりでしたが、病棟の看護師さんや上級医の先生方と定期的に飲み会をしたり、同期でお出かけしたりとプライベートな時間もたくさん楽しむことができた一年でした。来年からはまた違う環境で、同期とも離れ離れになりますが、また定期的にみんなで集まって、これからも一緒に頑張っていきたいと思っています！上級医の先生方には今年度数えきれないくらいたくさんお世話になりました。来年度は大学を離れますが、小児科医としてパワーアップして帰ってきたいと思っていますので、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

→10月に同期で旅行した際の写真です。

柴原先生一家に偶然遭遇して撮っていただきました！



小児科通信に関してご意見や感想があれば守田（h-rita@med.uoeh-u.ac.jp）までご連絡ください。

～次号もお楽しみに～